



## <取材のお願い>

2023年9月14日

和歌山信愛大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

### 教員志望のベトナムの学生が日本の先進的な小学校科学教育を学ぶ

#### ～和歌山を起点とした教育分野の日越交流推進を目指して～

和歌山信愛大学では、9月24日（日）～9月29日（金）、本学と大学間交流協定を結ぶベトナムのフーイエン大学から大学生6名、教員1名、計7名を招へいし、日本の小学校で実践されている先進的な科学教育を研修するプログラムを実施します。フーイエン大学は教員養成に力をいれている公立大学で、特に小学校教育、幼児教育、英語教育の分野で数多くの優秀な教員を輩出しています。今回来日するのは、科学教育に強い関心があり、小学校または幼稚園の教員になることを将来の選択肢として真剣に考える優秀な学生たちです。

プログラムでは、アシスタントとして参加する本学の学生とともに、科学教育用実験キットを用いた電流のはたらきを学ぶ実験、DNAの抽出実験、プログラミングによるロボット操作の実習などを行います。子どもの視点から科学教育の実践的な技能や技術を習得することが目的です。また、和歌山市立伏虎義務教育学校では実際に科学教育の授業を参観し、その後ディスカッションを行います。さらに、コンピュータ横編機を製造・販売する株式会社島精機製作所（SHIMA SEIKI）を訪問し、最先端の工業技術を見学します。教員の卵である招へい学生らが、「実験・観察」を重視した日本の科学教育や、企業の現場を体験することで、ベトナムの教育現場で活躍する人材として成長することが期待できます。同時に、本学学生のグローバルな視点を育み、未来を担う教員として大きく飛躍する契機になることは間違いありません。

和歌山県とベトナムは、農業や貿易・産業関連の覚書を締結する等、交流関係にあります。昨年10月には和歌山県主催のベトナムの教育機関との交流イベントがハノイで開催され、本学がフーイエン大学と出会うきっかけとなりました。本プログラムにより、和歌山県を起点とした教育分野での日越交流推進を目指します。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」\*に採択されたものです。

\*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>





つきましては、参加学生たちが電流のはたらきを学ぶ実験や DNA 抽出実験、プログラミング教育の実習を行う様子、SHIMA SEIKI 社を訪問する様子、日本文化体験として和歌山城内の紅松庵にて茶道を体験する様子、学生との意見交換会の様子取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の辻伸幸教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●科学教育用実験キットを用いた電流のはたらきを学ぶ実験（辻伸行教授指導）  
●DNA 抽出実験（秋吉博之教授指導）  
●プログラミングの実習（和歌山工業高等専門学校 津田尚明教授指導）  
●SHIMA SEIKI 本社訪問 ●和歌山市立伏虎義務教育学校訪問  
●日本文化体験（和歌山城見学、茶道体験ほか） ●子ども科学館見学  
●学生との意見交換会

【実施場所】 和歌山信愛大学、SHIMA SEIKI 本社、フォルテワジマ、  
和歌山市立伏虎義務教育学校ほか

【研修日程概要】

9月24日（日）	午前：入国 午後：和歌山信愛大学到着、歓迎式、オリエンテーション（実施場所：本学）
9月25日（月）	午前：科学教育実験キットを用いた電流のはたらきを学ぶ実験（実施場所：本学） 午後：日本文化体験（和歌山城見学、茶室体験ほか） 本学学生との意見交換会（実施場所：本学） 学生との意見交換会（実施場所：本学）
9月26日（火）	午前：DNA 抽出実験（実施場所：本学） 午後：和歌山市立こども科学館見学と科学実験体験
9月27日（水）	午前：SHIMA SEIKI 本社にて先端科学技術体験 午後：プログラミング教育の実習（実施場所：フォルテワジマ）
9月28日（木）	午前：伏虎義務教育学校にて授業参観 午後：成果発表会（実施場所：本学）
9月29日（金）	午前：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

和歌山信愛大学  
（担当：辻伸幸）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室  
（担当：田中(禎)、太田）